

# Through the Landscapes

育英館大学公開講座  
実験映画 上映会

## ランドスケープを通り抜けて

プログラミング 西川智也(ニューヨーク州立大学ビンガムトン校准教授)

トーク 西川智也+阪本裕文(育英館大学教授)

8月にラジオ放送として実施した公開講座「アートとしてのフィルム——アメリカを中心とする実験映画の現在」の続編として、実験映画作家の西川智也氏(ニューヨーク州立大学ビンガムトン校准教授)のプログラミングによる、実験映画上映会を開催します。近年のアメリカで制作された実験映画4作品によって構成されるプログラムで、上映後は西川氏によるプログラム解説と対談も行います。(講師:阪本裕文)

上映作品

- ・貯水池(7つの断章)(ジョン・ウィン、9分、2022年)
- ・Eチケット(サイモン・リウ、13分、2019年)
- ・不明瞭のはざま(グレッグ・マーシャル、6分、2022年)
- ・ヴィクトリー・オーバー・ザ・サン(マイケル・ロビンソン、13分、2007年)

日時 10月20日(金) 17:00(上映時間41分)

会場 育英館大学 新館4階 1401教室



### 貯水池(7つの断章)

(ジョン・ウィン、9分、2022年)

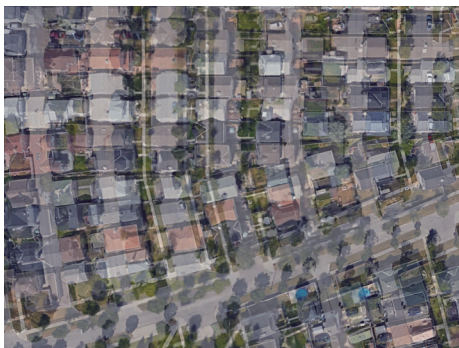
人工貯水池というアメリカの不自然な環境に注目した作品。映画的なイメージとそれがとらえた風景は、不和の生態系に漂う傷ついたもののように見えるだろう。-JW  
ジョン・ウィンはノースカロライナ州ダラムを拠点に活動する映像作家で、執筆、キュレーション活動も行う。彼の映像作品は、自然とそこに浸透するイメージについての瞑想として表現される。



### Eチケット

(サイモン・リウ、13分、2019年)

16,000枚の35ミリネガ映像を編集用テープで繋ぎ合わせた作品で、作家個人のアーカイブのカタログ化、もしくは忘れ去られたイメージの再生である。インドへの修学旅行中に撮影された風景は断片化され、2005年に香港で開催された世界貿易機関(WTO)首脳会議への抗議風景へと移り変わる。-SL  
サイモン・リウは、彼の出身地である香港の急速に進化する地理的環境が人々に及ぼす影響を叙情的なカタログとして、さまざまな映像形態で表現する作家である。現在、ニューヨークのクーパー・ユニオンで教鞭をとり、アーティストが運営する現象ラボNegativelandのメンバーでもある。



### 不明瞭のはざま

(グレッグ・マーシャル、6分、2022年)

カナダのアルバータ州内にある3405の廃坑となった油井とガス井の座標を元に、地理的に表示された映像を繋ぎ合わせた作品で、石油・ガス産業の構造に対する詩的な映像の旅であり、取り返しのつかない形で結びついた土地との関係について考察する。-GM  
グレッグ・マーシャルはカナダ、アルバータ州カルガリー出身のアーティストで、主にビデオ作品を制作している。彼の作品は、公共データベースを頻繁に引用しながら、様々な形のテクノロジーと転位の影響を検証する。現在、カルガリー大学の修士課程に在籍。



### ヴィクトリー・オーバー・ザ・サン

(マイケル・ロビンソン、13分、2007年)

過去の万国博覧会の休眠地は、精神と物質、エゴと産業、未来主義と失敗の間の噴火のような闘争を生み出す。11月の冷たい雨でさえ、永遠に続くものではない。-MR  
マイケル・ロビンソンは映画、ビデオ、コラージュ作品を制作するアーティストで、大衆メディアの感情的なメカニズム、心痛の性質、また私たちが住む現実の不安定さを探求する。作品はノスタルジアと軽蔑の境界線に沿って、ダーク・ユーモアと露骨な感情の奇妙なバランスを呼び起こす。